Energia
かけはし
5月
中国電力 上関原子力発電所準備事務所
2022 May／No.437

ほのぼの通信

社員が行く！町なかレポート

毎月、当事務所の社員が皆さまに「かけはし」をお届けしていますが、その配付時や、周辺地域に出向いた時に「なんだろう」とか「気になる」などと思った場所を紹介する「社員が行く！町なかレポート」がスタートします。
社員にはどんなものが見えているのでしょうか。

なぜ、高台にこの建物が

私は入社2年目の社員ですが、上関に住み始めて感じたことは、美しい自然や景色の良いところが多いということ。

最近は、その景色を写真に収めようと思い、休日などに散歩を兼ねて絶景スポットを探しています。

私が入社して以降、かけはし配付は、コロナウイルス感染症対策のため、ポスティングが中心となっていて、皆さまとお話しできる機会は少ないのですが、それでも毎月皆さまのお宅を訪問し配付しています。

さて、配付を始めて数カ月後の事ですが、高台にある広場にポツンと建物があることに気付きました。近寄ってみると看板があり「旧上関番所」と書いてありました。

『番所がこんな高台にあったのかな…』と不思議に思って調べてみると、その昔は上関港の近くにあって、1996年にこの場所に移されたとのことでした。さらに調べていくと、番所とは海の主要な港に設けられた関所のことで、港の警備、見張り、積荷の検査や運上銀(税金の一種)の徴収を行っていて、1632年に四代に置かれましたが、その後、朝鮮通信使が上関港へ来航することなどがきっかけで1711年に上関へ移されたとのこと。

現在の旧上関番所は、上関町東町の旧秋月家の住宅を移転復元したもので、藩政時代の番所としては唯一の貴重な建物として山口県指定有形文化財に指定されています。

また、番所の敷地内に建立された朝鮮通信使来航記念詩碑の詩文には、9回目の通信使が上関に寄港した際、朝鮮側の外交官、申維翰(しんゆはん)が上関での歓待を喜んだ心情が詠み上げられています。

この旧上関番所があるところは、熊毛南高校上関分校だったそうで、校訓が書いてある石碑のそばには大きな木があり、夏はひまわり、秋にはコスモスが咲きます。また、ここからの景色もよく、上関の海を見渡せ、風の強い日には潮の香りもするので、毎月歩くのが楽しみです。

「四代らん蘭まつり」の思い出

会場の様子（2010年撮影）

山口県のご当地ミュージシャンライブ（2010年撮影）

ひなの里よりあい館で行われた発表会（2007年撮影）

1997年4月、蘭の育成を趣味にしている四代地区の人たちが、自分が育てた蘭をたくさんの人に見てもらおうと四代簡易郵便局の前や漁協前広場で蘭の展示会を開きました。これが「四代らん蘭まつり」の始まりです。四代漁港の駐車場と「ひなの里よりあい館」を主会場として、蘭の展示とバザー、カラオケと舞踊の発表会などが行われ、大変賑わいのあるお祭りです。

残念ながら、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年から中止が続いています。そこで今回は、地元四代に蘭づくりを広めようと、花づくりの会の立ち上げから、らん蘭まつりの中心的な役割を果たしてこられた方にお話をうかがいました。

内藤さん宅の通路に置かれている蘭の鉢植え

山近幸枝さんは、「地区の人たちに、栽培していた蘭を株分けして、育ててもらいました。せっかくなので『四代 たんぽぽの会』というグループを作り、活動を始めた時のメンバーは16名。最初の展示会は100鉢くらいでした」と懐かしそうに話されていました。

内藤知佐子さんは、「四代は気候が良いので、花づくりをする人は多かったのですが、1990年代に人気のあった蘭に目を向ける人が増えました。祭りでは蘭の栽培を広めようと、専門家による植え替え教室を開いたり、ご当地音楽グループのライブや花の競り市、餅まきをしたりと、常にお祭りを盛り上げることを考えて開催してきました。らん蘭まつりの再開の目処は立っていませんが、早くコロナ禍が収束して再開できる日を楽しみにしています」と、語り尽くせないお祭りの思い出や今のお気持ちをお話しくださいました。

山近さん宅の玄関先を彩る蘭の鉢植え

現在、お二人が育てている蘭は、玄関や通路を美しく飾り、たくさんの人にお披露目される出番を待っているようでした。

新ジャガのガレット

材料/2人分

新ジャガイモ…大きめ2個

Ⓐ
- バター……10g
- しょうゆ……小さじ2

Ⓑ
- 青のり……小さじ1
- コショウ……適量
- 片栗粉……小さじ2

サラダ油……大さじ1

調理方法

1. Ⓐを電子レンジ500Wで30秒ほど加熱して溶かしておく。
2. ジャガイモは皮をむき、薄くスライスして千切りにする。（ピーラーを使ってもよい）
3. ボウルに❷とⒷを入れ、全体を軽く混ぜてなじませる。
4. フライパンにサラダ油をひき、❸のジャガイモを敷き詰める。最初は弱火、その後中火にし、フライ返し等で押さえながら5～6分焼く。
5. しっかり固まって焼き色が付いたら、裏返して同じように焼く。
6. 両面とも焼き上がったら、❶のバターしょうゆをフライパンの縁から回しかけ、再度、両面を軽く焼く。

料理メモ

新ジャガイモは、ミカンと同等の含有量を含むビタミンCの宝庫です。比較的加熱に強いのが特徴なので、短時間の加熱なら、ビタミンCを損なうことなく体内に取り入れることが期待できます。

※ガレットとは…フランスの郷土料理。丸く平たく焼いた料理や菓子のこと。

主な栄養成分（1人分）

タンパク質	2.7g	カルシウム	16mg
糖質	13.2g	マグネシウム	47mg
食物繊維	15.1g	ビタミンC	43mg
カリウム	681mg	食塩相当量	1.0g

ポイント

ジャガイモに含まれるデンプン質がくっつき合って、もっちりと焼き固められます。そのため、水にさらさず、切り口のデンプン質を残しましょう（今回は補助的に片栗粉を少量足しています）。しっかり押さえながら焼くこともポイントです。
バターしょうゆの代わりにチーズ、あるいはお好みでケチャップや野菜を添えてもよいでしょう。

上関町役場新庁舎での業務開始

上関町役場の新庁舎が完成し、今年3月からは新庁舎で全ての業務が始まっています。

1956年に建てられ半世紀を超える長きにわたり町民の皆さまの生活を見守ってきた旧庁舎は、上関町ふるさと納税パンフレットの表紙にも掲載され、上関の景色の一部としての役割も果たしてきました。

こちらが新庁舎

旧上関小学校の跡地に建設された3階建ての新庁舎は、分散していた庁舎を集約することでひとつの場所でさまざまなサービスが受けられるワンストップサービスを基本としており、バリアフリー設備も用意されているなど、町民の皆さまが利用し易い造りとなっています。

生活に役立つ情報の提供を目的として3月に発行された「上関町 暮らしの便利帳」では、町役場の窓口や各種手続き等の行政情報と地域の生活情報などが掲載されています。

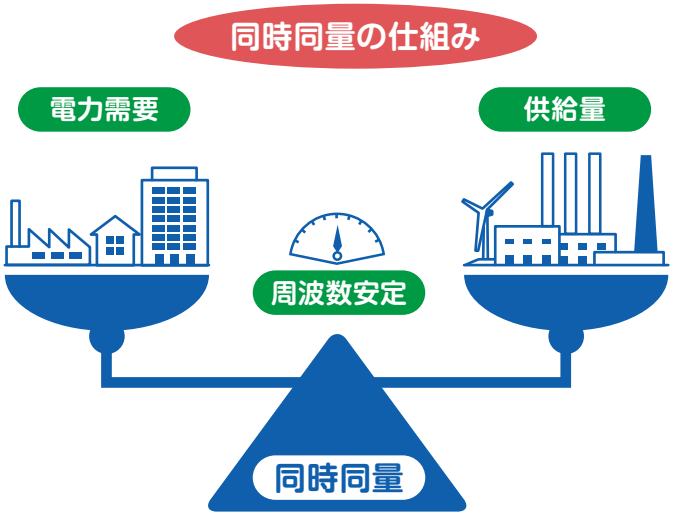
よくわかるエネルギーのはなし 「電力需給ひっ迫」

●電気は使う量と作る量が同じ!?

電気は貯めることができないため、使う量（需要）と作る量（供給）を常に同じ量にしなければなりません。これを同時同量と言います。同時同量のバランスが崩れた場合、周波数が乱れ、電気を正常にお届けすることができなくなります。

周波数は、たった1%でも乱れると、工場などで作られる製品の品質に影響が出るなど繊細なものです。大きく乱れた場合は、発電所の発電機が安定的に動かなくなり、大規模停電につながる可能性もあります。

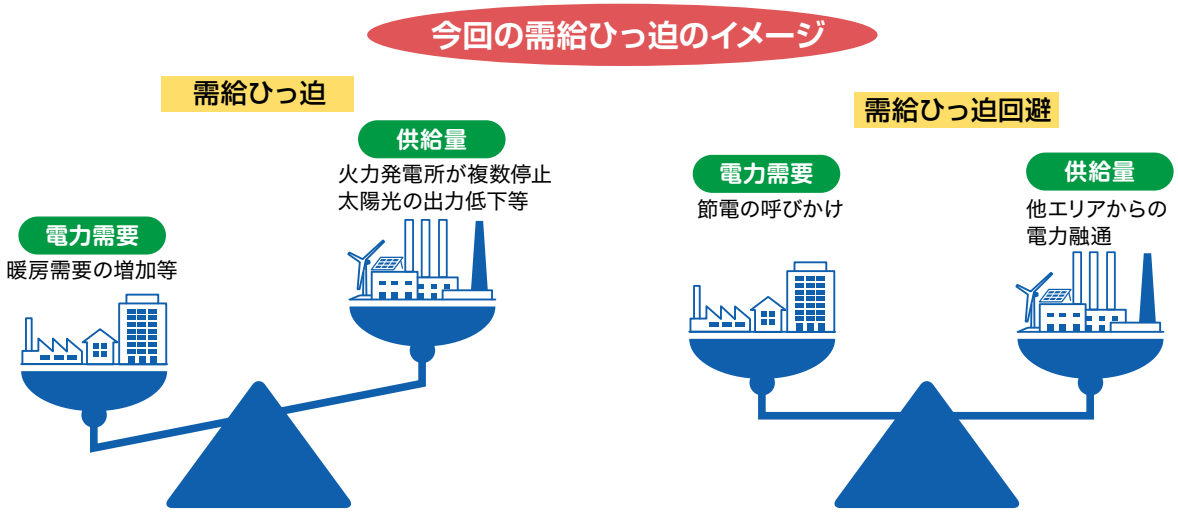
そのため、日々社会の動きや気象状況などをもとに電気の使用量を予測し、発電量をコントロールしながら「同時同量」になるようバランスを保っています。



●東日本での電力需給ひっ迫とは？

今年3月、福島県沖を震源地とした地震の影響で、東日本にある火力発電所が複数停止しました。さらに天候不良による太陽光発電の出力低下等により、電気の供給量が下がりました。一方で、東京で雪が降るなど、非常に強い寒気の影響により暖房等による電力需要が増加。そのため、同時同量のバランスが大きく崩れてしまい、大規模停電を起こす危険性が高まりました。

そこで、政府は、わが国で初めて「電力需給ひっ迫警報」を発令し関東を中心に節電を呼びかけるとともに、沖縄を除く各エリアから首都圏へ電力を融通したことなどにより、大規模停電は回避されました。



編集後記

今年2月に赴任して、はや3カ月がたちました。上関町に来て感じるのは景色が素晴らしいことです。最近は過ごしやすい気候になり、山の緑や海の青さに感動しながらランニングやサイクリングを楽しんでいます。

かけはし【437号】 令和4年5月発行　発行所・〒742-1403　山口県熊毛郡上関町大字室津288-13
中国電力(株) 上関原子力発電所準備事務所　☎(0820)62-1111
この広報紙は、植物油インキで印刷しています。